

## 女性活躍の理想と現状

### 1 女性活躍が実現した社会（理想）

---

- 女性であることによる負荷が解消されている。
  - ・ 女性が生活の中で自尊心や充実感を感じることができている。
  - ・ 自分の考えに基づく取組を全うすることができている。
  - ・ 性別問わず家事や育児・介護に主体的に取り組んでいる。
  
- 誰にとっても働きやすい職場環境が整備されている。
  - ・ 家庭環境やライフステージに関わらず、キャリア形成や就労継続ができる。
  - ・ 出産や更年期等の女性特有の健康課題に配慮された職場環境が整備されている。
  - ・ 意思決定に関わる立場の男女比が均衡している。
  
- 女性と男性が対等に話し合いのできる環境が整っている。
  - ・ あらゆる意思・政策決定過程に女性が参画している。
  - ・ 意思決定に関わる立場の男女比が均衡している。
  - ・ 男女間相互の固定的役割分担意識が解消されている。

### 2 本市の現状

---

- バイアスによる女性への負担・障壁
  - ・ 性別役割分担意識によって生じる女性への負担は大きい、そのことに対し男性が無自覚である場合が多い。
  - ・ 家庭環境やライフステージによるキャリアの断念については、多くの場合で女性側に求められる。
  
- 就労環境
  - ・ 子育てなどで働ける時間に制約があると、就職や就労継続が困難になる場合が多い。
  - ・ 女性が役員や管理職であると、女性であることをことさら強調されることがある。
  - ・ 女性特有の健康課題（生理・更年期等）に対し、労働環境の整備が進んでいない。
  
- 政策・意思決定過程への女性参画が少ない
  - ・ 多くの団体において、女性が占める割合がまだまだ低い。
  - ・ 議会や団体役員、企業における管理職など、意思決定過程に参画できる立場の女性割合が低い。

3 女性活躍の実現に不足しているもの、女性活躍の実現を阻害しているもの

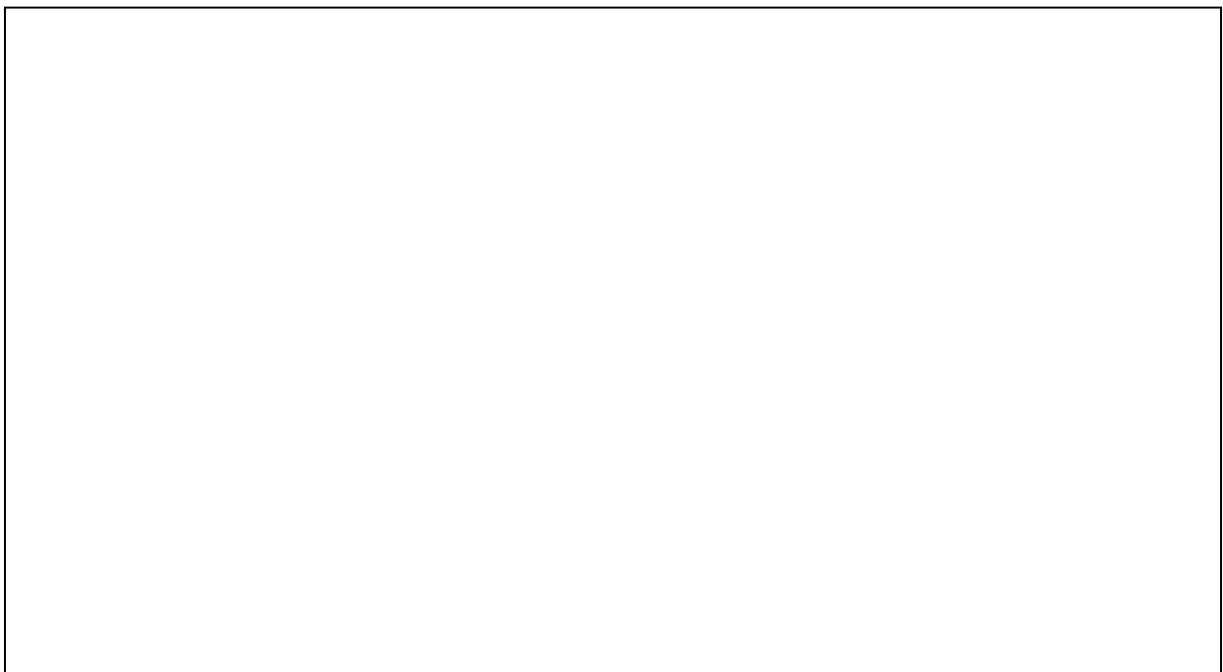
---

グループワーク（30分）

(1) 意識（職場／家庭／社会）

A large empty rectangular box with a thin black border, intended for group work or discussion.

(2) 環境（職場／家庭／社会）

A large empty rectangular box with a thin black border, intended for group work or discussion.